


交換用バッテリーパック BXB50F取扱説明書

本製品は、無停電電源装置 BX35F/BX50F/BX50FW/BY50FW(*1) 専用バッテリーパックです。

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください

安全上のご注意

この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

	注 意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
---	------------	---

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。



：禁止(してはいけないこと)を示します。例えば  は分解禁止を意味しています。



：強制(必ずしなければならないこと)を示します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

(*1) 最新の対応機種は当社ホームページを参照してください。
(<https://www.oss.omron.co.jp/ups/>)



注 意 (バッテリー交換時)

交換作業は安定した平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、両手でしっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどの危険があります。



指定以外の交換バッテリーは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 商品型式：BXB50F (BX35F/BX50F/BX50FW/BY50FW(*1) 専用バッテリーパック)



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。





注意 (バッテリー交換時)

バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

バッテリーの接続コネクタに金属物を挿入しないこと。

- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 火災を起こすことがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



お願い

この製品には、鉛バッテリー(鉛蓄電池)を使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



バッテリーの保管 (使用していない状態) 可能期間は、完全充電状態から約6ヶ月です。(保管温度25℃以下の場合。40℃以下の場合には約2ヶ月です。)

- バッテリーは使用しなくても内部で自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となりバックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- バッテリーは保管中にも劣化が進み、寿命が短くなります。早目に使用を開始してください。
- バッテリーご購入後6ヶ月以内に使用を開始してください。
無停電電源装置(UPS)に取り付けて保管される場合は、保管前に12時間以上充電をし、保管中は電源スイッチを「切」にして下さい。保管期間が6ヶ月を超える場合、超える前に無停電電源装置(UPS)を12時間以上商用コンセントに接続し、バッテリーの再充電を行ってください。
- 保管を継続される場合は、保管温度25℃以下の場合には以後6ヶ月毎、40℃以下の場合には2ヶ月毎に再充電を行ってください。

付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか確認してください。

万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

- ・取扱説明書(本書) 1

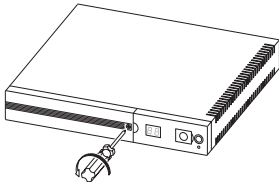
バッテリー交換

● 準備

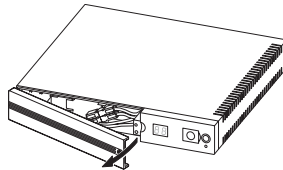
横置きの場合、本機の上にCRTなど重量物が乗せてあるときは交換作業が終わるまでおろしておいてください。

● バッテリー交換

(1) 前面パネルを開ける。

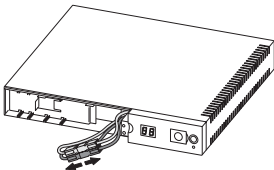


■ ネジ(1個)をドライバで外します。

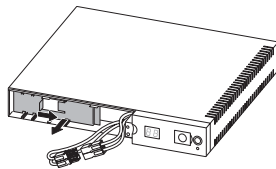


■ 前面パネルを取り外します。

(2) バッテリーの接続コネクタを外し、金属カバーを取り外す。



■ 赤と黒のコネクタを外します。
(両手でコネクタの左右を持ち、左右)に引きます。



■ 金属カバーを取り外します。
① 前面の金属カバーを右へスライドし、
② 手前に取り外します。

⚠ 注意

● バッテリーから液漏れがあるときは、液体(希硫酸)に触らないこと。またバッテリーパックを逆さまにしないこと。

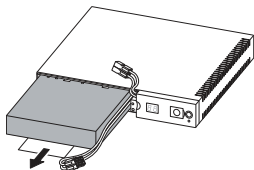
- ・ やけどや目に入ると失明の恐れがあります。
- ・ 液体が目や皮膚に付着したときはすぐに大量の水で洗い流し、医師の診療を受けてください。
- ・ 交換用バッテリーパックを包装してあるビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。

● バッテリーパックを落下させないこと。

- ・ バッテリーパックをしっかりと持ち、落下させないようにご注意ください。

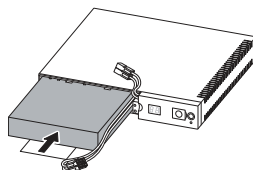
● バッテリーを取り外すときにケーブルを持たないこと。

(3) バッテリーに貼ってあるラベルを持ってバッテリーパックを取り出し、新しいバッテリーを挿入します。



■ 白いラベルを持ってバッテリーを引き出し、バッテリー本体を保持して取り出します。

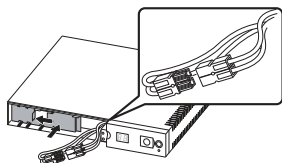
⚠ 落下しないようご注意ください。



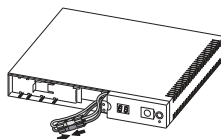
■ 新しいバッテリーを挿入します。

(4) 金属カバーをはめ込み、コネクタを接続する。

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に「パチッ」と音がすることがありますが異常ではありません。

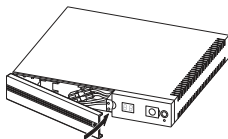


■ 金属カバーを切り欠き部を合わせてはめ込み、左へスライドして固定する。(バッテリーがケース内に固定されます。)

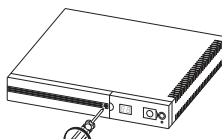


■ 赤と黒のコネクタをそれぞれ接続します。(接続後、コネクタが完全に根本まで入っていることを確認して下さい。)

(5) 前面パネルを取り付ける。



■ 前面パネルの左側を本体ケースに固定し、取り付けます。



■ ネジをドライバで締め、前面パネルを固定します。

<運転状態のまま交換した後は・・・>

「ブザー停止/テスト」スイッチを0.5秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合に、1回スイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。交換前に「バッテリー交換」表示、ブザーが出ていた場合は、テスト完了後に表示・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

<運転を停止して交換した後は・・・>

「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に接続し、本機の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約3秒のテスト後に正常運転に戻ります。

以上でバッテリー交換は完了です。

❗ 天面のシールに使用開始時期を記入してください。なお、本機に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

● 交換済みの不要バッテリーはおお客様のご負担は送料のみの無償引取りを行っております。詳しくは別紙、「UPS リプレースサービス」引取依頼書をご参照ください。